

おおわきじょうあと
大脇城跡

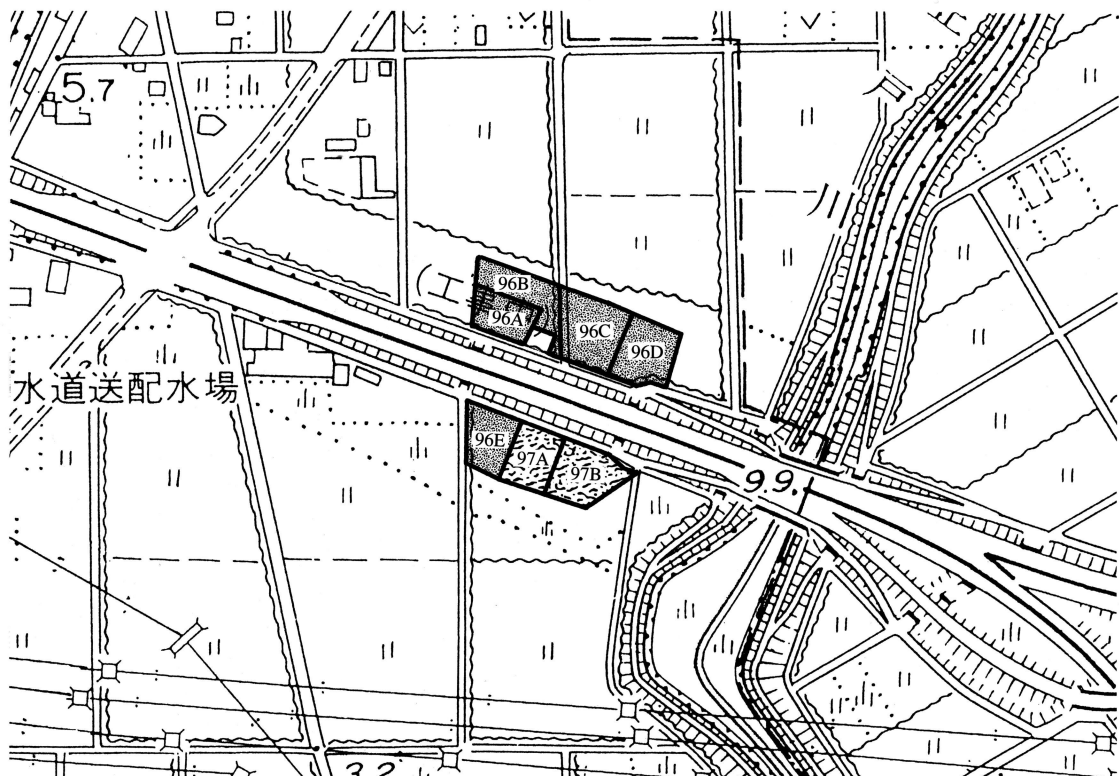
調査の経過 大脇城跡は、豊明市栄町梶田及び元屋敷地内に所在し、かつての尾張と三河の国境を流れる境川の支流である正戸川右岸の平坦な沖積地に位置する城館跡を中心とする16～17世紀の遺跡である。耕地整理された現在の標高は4 m前後であるが、遺構検出面の標高は3 m前後を測る。

発掘調査は、第二東海自動車道の建設に伴う事前調査で、建設省及び日本道路公団から愛知県教育委員会を通じた委託事業として、1996年8月～1997年8月に実施した。

今年度は、国道23号線（名四国道）の南側において2,800㎡を2区（97A・97B）に分けて調査を行なった。

調査の概要 昨年度の調査では、15世紀末頃～17世紀中頃の時期の溝、井戸跡、堀立柱建物跡、土坑などが検出された。とくに96A区～96D区にかけて検出された幅2.5m前後、深さ1.8m前後の大溝は、断面の形状が戦国期の城館に特有な「薬研堀」状を呈している。また、大溝の北側においてはほとんど遺構が認められないのに対して、南側では多くの遺構が展開する。これらの点から、この大溝は城館を区画する「外堀」的なものと推定された。

大脇城跡は、国道23号線（名四国道）の建設や耕地整理が行なわれる以前に「土塁」状の高まりが確認されている。さらに、地籍図で土塁跡推定地を含む部分に方形の区画が認められることから、97B区は大脇城の中心部にあたると想定された。現に、97B区で検出されたS D01・07・12は、城館の主郭を区画する堀と考えられる。



第1図 調査区位置図（1：5000）

L字状をなすSD01の西側部分が、幅約4m、深さ1.5m前後、「箱形」状を呈するのに
対し、南側部分は、幅約5.5m、深さ2m前後、「土橋」と考えられる開口部を有するほか、
溝底に湧水施設とみられる大型土坑列が確認された。溝の規模・形状から南側を正面と想
定したい。SD01は地籍図で確認された方形区画の外角線と合致する位置にあたる。SD
07は、幅約3m、深さ1.1m前後を測り、「箱形」状を呈す。SD12は、幅約3.5m、深さ
1.7m前後を測り、「薬研堀」状を呈す。SD07・12間の空間は開口部と考えられる。ま
た、南側と東側の開口部で、溝の端部がいずれも食い違い状を示す。

今年度の調査区で井戸が13基検出された。そのうち、主郭部分は4基を数える。構造物
が残存していた井戸は2基確認されたが、いずれも主郭内である。特に97B区SE07の構
造物は、上段が曲物、下段が桶となっている。

溝・井戸以外の遺構としては、礎石・柱痕の検出された柱穴や土坑などがある。土坑の
なかには97A区と97B区の境から集中して見つかった甕を埋設したものや、深さ0.2m前
後、一辺1～2mの浅い方形土坑がみられる。

出土遺物には、大多数を占める土器・陶磁器類のほかに、木製品（下駄・桶・曲物・
箸・独楽・柄杓・建築部材など）、漆製品（椀類）、石製品（五輪塔・砥石・臼・硯な
ど）、銭貨（元佑通宝・元豊通宝・永楽通宝・寛永通宝など）、金属製品（鎌・小柄・柄
尻・キセルなど）の各種がある。土器類には、内耳鍋・羽釜・茶釜型・小皿などが、陶磁
器類としては、黄瀬戸・志野釉などをはじめとする瀬戸・美濃窯産の各種製品、常滑窯産
の甕・壺・鉢類のほかに肥前窯産の碗類、及び若干の中国磁器（青花碗・皿類）がある。
これらは概ね15世紀末～17世紀後葉のものである。



第2図 地籍図と調査区

まとめ

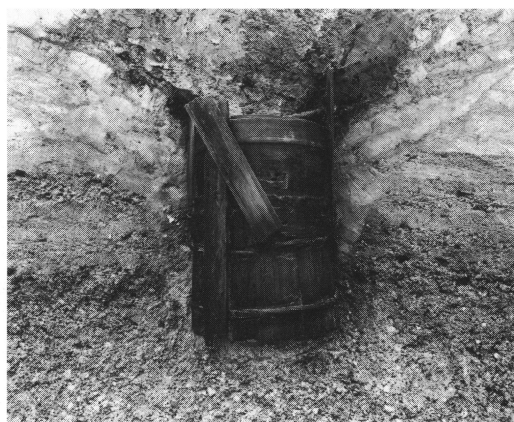
現在の大脇城跡は、後世の開墾・耕地整理などにより一面が水田化され、地表面にその痕跡を留めず、その実態が判然としなかった。しかし、上述の遺構・遺物などからその実態が明確になってきた。また、大脇城の城主とされる梶川五左衛門は、文献資料によれば16世紀中頃～末の武将である。天正四（1576）年銘の護摩札をはじめ、遺構・遺物の年代はこうした記録と特に矛盾するものではない。

大脇城の様相として、堀（所伝を考慮するならば土塁も含む）によって囲まれた方形の城館を中心とし、その周囲に中小の溝によって区画された屋敷地が展開、さらにその外周を「葉研堀」状の大溝が巡るといった状況が復元・想定される。ただ、主郭の基軸と外郭の屋敷地の基軸、大溝の方向が一樣でないこと、出土遺物が15世紀末～17世紀後葉と時代幅があること、さらに、「寛文村々覚書」の「古城跡 先年梶川五左衛門居城之由 今ハ畑成」という記述、調査地点付近に存在した大脇村が17世紀末以前に水害対策のために現在の大脇の集落がある高台へ移転したとする伝承などから、大脇城跡が2時期以上に区分される可能性も想定する必要がある。

（中野良法）



SD01開口部及び湧水施設（97B区）



SE07（97B区）



礎石及び柱痕（97A区）



甕埋設土坑（97A区）

